

平成30年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市営宿舍サングリーン菊川
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 1 1 番地 6
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
目標値	36,000	38,000	42,700	41,328	39,060	197,088
実績値	38,664	40,618	46,771	37,588	35,737	199,378
差	2,664	2,618	4,071	△ 3,740	△ 3,323	2,290

平成26年度から実績値が目標値を達成していましたが、平成29年度より利用者が減少に転じています。平成30年度は温泉の泉源機器の故障等により利用者はさらに減少しました。5年度での実績値の合計は目標値を上回っていますが、今後も一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の保養及び健康増進を図り、併せて一般観光客の利用に供するためです。管理運営の状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われています。

業務内容については、季節感のある料理メニューの開発やインターネット予約の拡大を図った取り組みを行うなど利用者拡大のための努力がみられました。また、インバウンド（海外旅行者）の獲得、小学校の修学旅行の受入れなど継続して実施し、事業の定着を図りました。しかしながら、温泉の泉源機器の故障等の影響もあり、宿泊者数・入浴客数が伸びず、目標を達成することはできませんでした。

収支については、適正な人員確保による人件費の削減等を行い、昨年度に比べ収支赤字は減少しました。引き続きコストの見直しを図るなど経営改善に努めるよう求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。地域に根ざした施設として、地域の観光施設や団体等と連携し、利用者のニーズに応じた企画の開発など年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。経営については、指定管理者の推し進める経営戦略を実行し、さらなる改善を図るよう求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう努力していました。地域に根ざした施設として、利用者の意見を取り入れながら業務改善に努めていました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

地域に根ざした施設として、利用者の意見を取り入れたサービスの補完と自主事業による業務改善に努力しています。また、積極的に地域行事に協力し、施設のPRに寄与しています。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理しています。領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する報告書類は整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。また、利用者の安全を確保するための消防計画等のマニュアルを作成し、緊急時の対応に備えていました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について実施していました。

事業収支

経済性

支出について、人件費や材料費の削減を図り、昨年度に比べ収支赤字は減少しています。引き続き経営改善を図ることを求めます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された正味財産増減計算書等を分析した結果、適切に会計処理されているものの、施設単独では運営資金に不足を生じており、さらなる利用者増加に努め、経営改善を図ることを求めます。

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市営宿舍サングリーン菊川
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 1 1 番地 6
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
目標値	38,000	42,700	41,328	39,060	39,060	200,148
実績値	40,618	46,771	37,588	35,737	35,291	196,005
差	2,618	4,071	△ 3,740	△ 3,323	△ 3,769	△ 4,143

平成27年度及び平成28年度は実績値が目標を上回っていましたが、平成29年度からは減少に転じています。令和元年度は、日帰り入浴利用者は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、さらに減少しました。今後も一層の利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の保養及び健康増進を図り、併せて一般観光客の利用に供するためです。管理運営の状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われています。

業務内容については、季節感のある料理メニューの開発やインターネット予約の拡大を図った取組を行うなど、利用者拡大のための努力がみられました。また、インバウンド（海外旅行者）の獲得、小学校の修学旅行の受入れ等を継続して実施しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、宿泊者数や宴会利用者数が伸びず、目標を達成することはできませんでした。

収支については、利用料金の減収により、昨年度に比べ収支赤字が増加しました。引き続き経営改善に努めるよう求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。地域に根ざした施設として、地域の観光施設や団体等と連携し、利用者のニーズに応じた企画の開発など年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。経営については、指定管理者の推し進める経営戦略を実行し、さらなる改善を図るよう求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。施設運営や利用者への対応については、公平・平等に利用できるよう努力していました。
利用者の意見を取り入れながら業務改善に努めていました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

利用者の意見を取り入れたサービスの補完と自主事業による業務改善に努力しています。また、積極的に地域行事に協力し、施設のPRに寄与しています。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。

新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する報告書類は整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について実施していました。

事業収支

経済性

支出について、経費の節減を図りましたが、利用料金の減収により、昨年度に比べ収支赤字は増加しています。引き続き経営改善を図ることを求めます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された正味財産増減計算書等を分析した結果、適切に会計処理されているものの、施設単独では運営資金に不足を生じており、さらなる利用者増加に努め、経営改善を図ることを求めます。

令和2年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市営宿舍サングリーン菊川
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 1 1 番地 6
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者のアンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次第のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
目標値	42,700	41,328	39,060	39,060	39,060	201,208
実績値	46,771	37,588	35,737	35,291	24,152	179,539
差	4,071	△ 3,740	△ 3,323	△ 3,769	△ 14,908	△ 21,669

平成28年度は実績値が目標を上回っていましたが、平成29年度からは減少に転じています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための休館や宴会自粛により大幅な減少となりました。今後も新規利用者の獲得に向けた企画や営業活動により利用者の獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の保養及び健康増進を図り、併せて一般観光客の利用に供するためです。管理運営の状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われています。

業務内容については、季節感のある料理メニューの開発やインターネット予約の拡大を図った取組を行うなど、利用者拡大のための努力がみられました。また、小学校の修学旅行の受入れを継続して実施しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、宿泊者数や宴会利用者数が伸びず、目標を達成することはできませんでした。

収支については、下関市指定管理者事業継続支援金の交付を受けたことにより一時的に改善が図られましたが、引き続き経営改善に努めるよう求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。地域に根ざした施設として、地域の観光施設や団体等と連携し、利用者のニーズに応じた企画の開発など年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。経営については、指定管理者の推し進める経営戦略を実行し、さらなる改善を図るよう求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。施設運営や利用者への対応については、公平・平等に利用できるよう努力していました。
利用者の意見を取り入れながら業務改善に努めていました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

利用者の意見を取り入れたサービスの補完と自主事業による業務改善に努力しています。また、積極的に地域行事に協力し、施設のPRに寄与しています。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する報告書類は整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について実施していました。

事業収支

経済性

支出について、経費の節減を図り、下関市指定管理者事業継続支援金の交付を受けたことにより一時的に改善が図られましたが、引き続き経営改善に努めるよう求めます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響が大きく、利用料金の減少に伴い収益が大幅に減少したものの、事業継続支援金を受け、経常費用の削減に務めるなど、健全な経営を目指し事業に取り組まれていると判断しました。

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市営宿舍サングリーン菊川
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 1 1 番地 6
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者のアンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次第のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
目標値	41,328	39,060	39,060	39,060	33,080	191,588
実績値	37,588	35,737	35,291	24,152	25,648	158,416
差	△ 3,740	△ 3,323	△ 3,769	△ 14,908	△ 7,432	△ 33,172

平成29年度以降は実績値が目標を下回っています。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用者の大幅な減少となっています。今後も新規利用者の獲得に向けた企画や営業活動により、利用者の獲得に努めるとともに、業務改善を積極的に推進し、提供するサービスの質を向上させることにより、一層の利用者獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の保養及び健康増進を図り、併せて一般観光客の利用に供するためです。管理運営の状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われています。

業務内容については、季節感のある料理メニューの開発やインターネット予約の拡大を図った取組を行うなど、利用者拡大のための努力がみられました。また、小学校の修学旅行の受入れを継続して実施しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、宿泊者数や宴会利用者数が伸びず、目標を達成することはできませんでした。

収支については、県・市からの事業継続支援金等の交付は受けたものの、悪化しています。引き続き経営改善に向け、努力と工夫を継続されることを期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。地域に根ざした施設として、地域の観光施設や団体等と連携し、利用者のニーズに応じた企画の開発など年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。経営については、指定管理者の推し進める経営戦略を実行し、さらなる改善を図るよう求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。施設運営や利用者への対応については、公平・平等に利用できるよう努力していました。
利用者の意見を取り入れながら業務改善に努めていました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

利用者の意見を取り入れたサービスの補完と自主事業による業務改善に努力しています。また、積極的に地域行事に協力し、施設のPRに寄与しています。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する報告書類は整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について実施していました。

事業収支

経済性

経費の節減を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大に係る県・市からの事業継続支援金等の交付を受けたものの、収支状況は悪化しているため、引き続き経営改善に努めるよう求めます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受ける中、事業継続支援金等を受け経営の安定化を図ってはいるが、収支状況は悪化しているため、引き続き、経常費用の削減及びさらなる利用者の獲得に務めることを求めます。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市営宿舍サングリーン菊川
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 1 1 番地 6
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者のアンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数 (単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
目標値	39,060	39,060	39,060	33,080	30,020	180,280
実績値	35,737	35,291	24,152	25,648	27,599	148,427
差	△ 3,323	△ 3,769	△ 14,908	△ 7,432	△ 2,421	△ 31,853

平成30年度以降は実績値が目標値を下回っています。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用者の大幅な減少となっています。令和4年度は新型コロナウイルス感染症に係る行動制限緩和の影響や旅行支援の実施により宿泊者数が増加したものの、目標値には達しませんでした。今後も更なる新規利用者の獲得に向けた企画や営業活動の実施により、利用者の獲得に努め、一層の利用者獲得に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の保養及び健康増進を図り、併せて一般観光客の利用に供するためです。管理運営の状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われています。

業務内容については、季節感のある料理メニューの開発やインターネット予約の拡大を図った取組を行うなど、利用者拡大のための努力がみられました。また、小学校の修学旅行の受入れを継続して実施しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、宴会利用者数が伸びず、目標値を達成することはできませんでした。

収支については、原材料費の高騰等により厳しい状況ではありますが、引き続き経営改善に努めるよう求めます。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の更なる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。地域に根ざした施設として、地元の観光施設や団体等と連携し、利用者のニーズに応じた企画の開発など年間を通じて利用者の増加に努めるよう求めます。経営については、指定管理者の押し進める経営戦略を実行し、更なる改善を図るよう求めます。

合目的性・公平性・効果性

施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。施設運営や利用者への対応については、公平・平等に利用できるよう努力していました。
利用者の意見を取り入れながら業務改善に努めていました。

機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

利用者の意見を取り入れたサービスの補完と自主事業による業務改善に努力しています。また、積極的に地域行事に協力し、施設のPRに寄与しています。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係書類、施設の利用に関する書類、保守点検等に関する報告書類は整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について実施していました。

経済性

支出について、原材料費の高騰等により昨年度に比べ増加しているものの、適正に執行していました。経費の節減を図っているものの、収支は前年度より悪化しているため、引き続き経営改善に努めるよう求めます。

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、適切に会計処理されているものの、収支状況は悪化しているため、引き続き、経常費用の削減及び更なる利用者の獲得に務めることを求めます。